

## 第5回 一宮町中央公民館建設検討委員会 次第

日時：令和6年11月6日（水）

10時00分～

場所：一宮町保健センター3階会議室

### 1. 開 会

### 2. 議長あいさつ

### 3. 報告事項

（1）第4回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について

### 4. 議事

（1）一宮町中央公民館の整備に関する検討について

① 検討結果報告書（案）の報告内容について

### 5. その他

以上

# 第5回 一宮町中央公民館建設検討委員会

## 席次表

(一宮町保健センター3階 会議室 10時00分～)

○ 一宮町町議会 副議長  
委員長 小関 義明

議長席

○ 一宮町子ども会育成会  
会長  
村山 裕紀

○ 一宮町女性会  
会長  
長島 豊美

○ 一宮町つくも会  
会長  
齋藤 繁美

○ 一宮町社会福祉協議会  
会長  
吉野 繁徳

○ 一宮町ボランティア連絡協議会  
会長  
柳澤 伸子

○ 公募委員  
福邊 克吉

○ 公募委員  
中村 雅紀

○ 公募委員  
川田 しのぶ

○ 公募委員  
鈴木 祐子

○ 一宮町町議会  
総務経済常任委員長  
川城 茂樹

○ 一宮町町議会  
厚生文教常任委員長  
藤井 幸恵

○ 教育委員会  
教育長職務代理者  
小高 隆

○ 教育委員会  
教育委員  
立花 亜由美

○ 一宮町社会教育委員会議  
議長  
大場 謙次郎

○ 一宮町文化協会  
会長  
渡邊 恵之助

○ 一宮町立小中学校校長会  
会長  
岡田 一人

○ 一宮町PTA連絡協議会  
会長  
鶴沢 清永

○ 一宮町区長会  
会長  
藤井 敦

出  
入  
口

事務局

事務局

事務局

(株) 榎本建築設計事務所

傍聴席 (5席)



傍聴席 (5席)



# 会 議 録

件 名： 第4回一宮町中央公民館建設検討委員会  
年 月 日： 令和6年10月23日（水） 10:00～12:00  
場 所： 一宮町保健センター 会議室  
出席委員： 小関義明委員・川城茂樹委員・藤井幸恵委員・小高 隆委員・立花亜由美委員  
渡邊恵之助委員・藤井 敦委員・村山裕紀委員・長島豊美委員・斉藤繁美委員  
柳澤伸子委員・福邊克吉委員・中村雅紀委員・鈴木祐子委員  
欠席委員： 大場謙次郎委員・岡田一人委員・鶴沢清永委員・吉野繁徳委員・川田しのぶ委員  
事務局： 教育課 渡邊課長・山口副主幹・宇野主査・中村主査補・田中  
関係課職員： 総務課 高田課長・企画広報課 渡邊課長  
オブザーバー： 榎本建築設計事務所 風戸氏・森川氏・牧野氏  
都市環境課 酒井主幹・大多和係長

## 1 開会

## 2 委員長挨拶 小関委員長

## 3 報告事項

- (1) 第3回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について  
前回議事録を事務局が読み上げました。

## 3 議事

- (1) 一宮町中央公民館の整備に関する検討について

(説明資料の前提条件)

- ・案として仮に立てた理論であり、内容全てにおいて未定のものである
- ・建設費用は1㎡あたり、新築：約90万円、改修：約45万円で試算（施工管理費含む）
- ・事業費・スケジュールは数年後の社会情勢や物価の変化等により変わる可能性がある
- ・社会資本整備交付金を活用した案を作成しているが、町の都市計画として、社会資本整備交付金事業を進めていく意思決定がなされたものではない。
- ・想定パターン内の国の補助金・交付金・交付税措置については制度上の補助率だけでなく近年の実際の交付割合等も考慮し概ねの額を試算する
- ・地方債の借り入れの利息支払い分については今回試算に含めない

上記前提条件を踏まえ、事務局より、下記6パターンを説明。

- ①新築（町予算のみ・同敷地内に建て替え）
  - ②新築（町予算のみ・町内の別の場所に移設して建設）
  - ③リフォーム＋増築（耐震改修のみ国補助制度の活用を想定した案）  
※リフォーム部分は約25年後に解体・建替え費用及び毎年のメンテナンス費が必要
  - ④新築（社会資本整備総合交付金 都市再生整備計画事業を活用した場合の案）
  - ⑤新築（社会資本整備総合交付金 都市構造再編集中支援事業を活用した場合の案）
  - ⑥新築（公共施設等適正管理推進事業債 集約化・複合化事業を活用した場合の案）
- それぞれの案について、建設手法・場所・規模（想定面積）・補助事業内容の説明及び事業期間、概算予算を提示。

## 【意見】渡邊恵之助委員

一番公民館を利用する団体としては、整備の方向性を決めて早く工事に取り掛かってもらいたい。5年とか10年とか長い期間待ってられない。

【質疑】村山裕紀委員

- ①現状の公民館にかかる最低限の改修コストをどのように見ているのか。
- ②現サイズでリフォームした場合、どの程度改修を行うのか。
- ③避難場所の配慮について。防災面を踏まえ高層階（3・4階建て）は想定し得るか。

【回答】事務局

- ①最低限の改修として最も優先度が高いものは耐震で、次に空調、この2点だけでも2億円程度見込まれる。また、耐震については、1/3補助があるが、空調については補助制度がない。他にもバリアフリー化やトイレやサッシの改修が考えられる。「最低限の改修」はどこまで設備の改修を行うかにより可変する。
- ②どこまで行うかにもよるが、参考にいすみ市は岬町公民館を3年前に10億円かけてフルリフォームしている。ここまで行うと物価高騰により予算不足が考えられる。
- ③高層の場合、鉄筋コンクリート3階建てが考えられるが、その場合10億円では予算不足となる。避難所仕様にするとなかなりの費用が見込まれる。

【③の補足説明】榎本設計事務所

通常の高層施設の建物の骨組みを1表現すると、公共施設は1.25倍、防災の拠点施設となると1.5倍程度となり単純に構造物の柱の大きさが1.5倍となるイメージである。また、防災の拠点施設となる場合は、阪神淡路レベルの地震に見舞われても空調等の設備が落ちてこない構造にする必要がある。また、構造物を1.5倍に大きくするため、同じ3階建ての建物であっても重量が増えるため、建物を支える地盤の基礎もより強固なものにする必要があり費用が嵩む。

【意見】川城茂樹委員

事務局が委員会での意見や住民ニーズ調査結果を踏まえいくつかの案を提示してくれたので、まずは委員会の中で「新築」か「改修」か採決を採るのがよいのではないかと。

【報告】中村雅紀委員

- これまでの検討委員会及び住民ニーズ調査の結果を踏まえ、意見書を基に報告
- ・新築で整備
  - ・中規模の図書室及び自習室の整備
  - ・飲食は可とする
  - ・現在の場所に3階建ての防災拠点として整備

【意見】福邊克吉委員

中央公民館の建設の話題から防災の話を外して考えてみてはどうか。町の人口1万数千人、その半分の約5千人が避難できる施設を公民館に求めるのは予算的に難しい。だったら、避難所については小・中学校や一宮商業、GSSセンターを活用できる道を町が検討すればよいしそこが使えれば十分な部屋が確保できると思うが、公民館の協議から防災面を外して考えてみてはどうか。

【補足】事務局

住民アンケート調査において建設場所でもっとも意見の多かった現在の場所は津波の

浸水想定区域内になっており、ここを津波の時の避難場所として考えることは難しいと思われる。

【意見】鈴木祐子委員

長生村に3階建ての集会所（一松北部コミュニティセンター）があり、そこは津波避難場所として利用できる。総工費は3億円ぐらい。

この施設は2つの交付金を使って整備していると聞いている。

例えば公民館をGSSセンターの近くに建てる場合、文教施設として都市整備の交付金は使えないか。

【意見・質疑】藤井敦委員

想定される津波の高さが10mであり、一宮小学校の海拔は10.4m、一宮中学校は10.0m、GSSセンターが13.5mでギリギリの状況。今の場所は津波避難所にならないかもしれないが、だからといえ防災を外すのは反対。

榎本建築設計事務所への確認したいのだが、現在の中央公民館の耐震性に問題があるかどうか確認したい。

【回答】榎本建築設計事務所

現在の基準からすると耐震性に問題がある。改修する場合は耐震補強した方が良い。

【質疑】藤井敦委員

昨年議員説明会時に町は新築の場合13億円と提示しているが、今回新たに提示した内容が最新のものでよいか。

【回答】事務局

最新の事例を榎本建築設計事務所と確認を取りながら算定している。

【補足】福邊克吉委員

先ほど「防災を外しませんか」と言ったが、現状大雨時の避難所として使えており、毎年起こる災害なら同程度のもので足りているので、新しい公民館に今以上の防災機能を求めるのはどうなのかと考え「防災を外しませんか」と提案した。

【補足】小高隆委員

福邊さんは恐らく津波避難場所として考えず、今までどおり河川・内水氾濫が引くまでの一時避難所で良いと言いたいのだと思う。

【意見】藤井幸恵委員

公民館は公民館として考え、避難所や防災については国からの補助金も踏まえ町の重要課題として今回は別枠として切り離して町で検討するべきだと思う。

● 小関義明議長

川城委員からあったとおり、この辺りで新築か改修か決を取りたい。

【採決結果】 新築：13人 改修：1人

● 小関義明議長

次に、事務局が提示した案の中から方針を決めたい。

【意見】川城茂樹委員

事務局が示してくれたそれぞれの案の内容を見る限り、④⑤⑥案のいずれかが望ましいと思うがいかがか。

【意見】渡邊恵之助委員

新築か改修かと問われると「新築」が良いに決まっている。ただ新築にする場合補助金をもらって事業を行うためには、時間がかかる。それまでの間既存施設に最低限の改修（大会議室の空調とトイレ）をお願いしたい。また、工事着手までに時間が相当掛かるのであれば「耐震」もお願いしたい。

【意見】藤井敦委員

榎本建築設計事務所へのお願いとなるが、事務局が示してくれたそれぞれの案でどんなものができるのか想像がつかないので、可視化できるデータとかの提示は可能か。

【質疑】小高隆委員

補助金を活用した耐震補強をしたら15年使わなければいけない。先ほど耐震性に問題があると意見があったが、柱が倒れて崩れてしまうのか、それとも命に問題がない程度の破損なのか、その辺りについて確認したい。

【回答】榎本建築設計事務所

断言はできないが、震度6強程度であれば倒壊はしないと思うが、ガラスが割れて怪我をする、そのようなことはあり得ると思う。

【意見】藤井幸恵委員

今の公民館の改修にかかるお金は他の事業に使いたい。地区の集会所を使う等、他の方法を検討できないか。

【意見】渡邊恵之助委員

文化協会の代表として、既存の他施設を使う場合、全てのサークルを集めて検討しないと私の一存では決められない。最低限の改修をするなら良いが、新築するから5年、6年待ってくれだと持ち帰れない。最低限の改修をするが将来的には新築にする内容の報告書にしてほしい。

【まとめ】事務局

新築で整備し、複合的施設が望まれている。この先社会資本整備総合交付金や起債を活用しながら計画を決め、その間の公民館は必要最低限の補修で対応する。この内容でまとまると認識してよいか。

特に意見なし

4 その他

第5回一宮町中央公民館建設検討委員会の開催日について

11月6日（水）10時～

一宮町保健センター3階会議室

5 閉会

一宮町中央公民館建設検討委員会

検討結果報告書(案)

令和6年11月

## はじめに

一宮町中央公民館（以下「公民館」という。）は昭和48年に建設され、社会教育や生涯学習などの活動拠点として、多くの町民に利用されています。しかし、現在は耐震性能に不足が生じていることや、空調など各種設備の老朽化が進んでいるほか、予約システムなどのデジタル化や館内のバリアフリー整備が大幅に遅れている等、複数の課題が生じています。

一宮町中央公民館建設検討委員会（以下「委員会」という。）は、公民館の整備を検討するにあたり、多くの町民から幅広い知見を求めて協議することを目的に設置され、令和6年7月から委員19名によって、委員会の協議が開始されました。

一宮町教育委員会が実施した、公民館に関する住民ニーズ調査（アンケート・タウンミーティング【住民対話集会】・グループインタビュー【団体聞き取り調査】）の結果などを基礎資料として協議を重ね、委員会の意見を取りまとめましたので、報告いたします。

## 検 討 結 果

### 1. 基本的な方針（規模や機能）

公民館は、文化活動や生涯学習の拠点となる教育施設です。

本委員会の設置目的は、公民館建設に関する検討ではありますが、住民ニーズ調査や、各委員からの意見では、教育を目的とした公民館機能だけでなく、図書館や歴史資料館など文化施設の整備を求める意見のほか、子育て世代からは、児童館や自習室、子ども達が安心して集える場所に関して、町内に行く場所がないため他の市町村にまで行っているという切実な声が多くありました。

本町の少子化や人口減少を考える上でも、子育て関連施設の拡充や必要性は今後益々求められていくものと推測します。また、町民どうしが交流できる場として、カフェや飲食が出来る部屋の要望もありました。



一宮町は豊かな自然のほか、上総一ノ宮玉前神社の門前町として、古くからの文化や歴史がある町です。多くの文人や政治家、企業などが避暑地や保養地として過ごしてきた本町は、東京オリンピックのサーフィン競技会場に選ばれたことにより、更に知名度や魅力が向上したことから近隣市町村に比較して移住者が多く、子どもの数も多いわりに、子育て関連の施設や、町民の交流施設、文化施設が近隣市町村に比べて乏しい状況にあります。

また現在の公民館では、調理室を利用して、一人暮らしのお年寄りへの配食サービスのお弁当づくりや、ホールを利用した「ふれあい昼食会」などの福祉事業も定期的に行われており、今後予想される高齢化社会に向けて貴重な活動となっています。

そして、公民館は大雨などの災害時には指定避難所として使用されています。近年は温暖化等の影響により数十年に一度の大雨といわれる災害が日本各地で毎年のように頻発するようになりました。また、地震国である日本では、本町にも大地震の被害が生ずる恐れがあります。このような背景から、避難所としての機能に関しても沢山の意見や要望が寄せられました。

その他、公民館は、選挙の期日前投票所や、運転免許証の更新会場、健康診断の待合室などを含めまして、多種多様な使い方がされています。

これらの状況を踏まえ、今後、建設する施設は、教育を目的とした公民館に限定せず、建設後50～70年の間、町民の様々な要望を叶える複合施設として、公民館の機能を含めた形で、新築で整備されることを、委員会の協議結果として報告いたします。

なお、施設の大きさや規模に関しては、一宮町文化祭や成人式などは現在、一宮町GSSセンター(町営体育館)を会場にしているため、今後、新たに建設される施設で、これらの行事を開催する事が可能な規模や面積を望みます。併せて、住民ニーズ調査や、検討委員の多様な意見や要望を取り入れた複合施設を建設するには、現在の公民館よりも大きな面積が必要になると推測されますが、建設費用も多額になるため、国の支援制度(補助金・交付金・交付税)を活用した建設事業計画の策定を要望します。

## 2. 建設場所

建設場所に関しては、住民ニーズ調査等の結果、JR 上総一ノ宮駅や町内各地域からの交通アクセスが容易であることや、役場や保健センターに隣接しているため利便性がある等の理由から、今と同じ場所に建設することを大多数の方が希望しています。新たな施設の建設場所は、現状の公民館と同位置、または、一宮町役場周辺に建設することを、委員会の協議結果として報告いたします。

なお、災害時の避難所として、現在の公民館の位置を心配する声も多くありました。現公民館は津波浸水想定区域に入っており、これまでも津波時の指定避難所に指定されておられません。町民の災害時における避難所の不安を払拭するためにも、高台にあるGSSセンターなどについて、避難所としての機能強化を要望いたします。

## 3. 建設年度

複合施設としての計画作成や、国からの支援を受けるための準備や手続きに数年間を要すると想定されますが、3～5年後(令和9年度～令和14年度)を目標に新たな施設の建設工事に着手されますよう、要望いたします。

## 4. 中央公民館の修繕

複合施設の工事着手までに必要な修繕として、以下を要望します。

- ① 館内の冷暖房設備
- ② スリッパ履き替えから、下足のまま入館可能な方法へ改善
- ③ トイレの明るさや匂いなどの環境改善

## 5. 委員会の開催経緯

|     | 開催年月日         | 主な内容  |
|-----|---------------|---|
| 第1回 | 令和6年7月24日(水)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱書の交付</li> <li>・委員長及び副委員長の選出</li> <li>・委員会設置の目的とスケジュールについて</li> <li>・公共施設改修に伴う財政計画(R4~R16年度)の説明</li> <li>・住民ニーズ調査(アンケート)の実施について</li> <li>・住民対話集会(タウンミーティング)の実施について</li> <li>・団体聞き取り調査(グループヒアリング)の実施について</li> </ul> |
| 第2回 | 令和6年8月28日(水)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一宮町中央公民館建設検討委員会における傍聴要領について</li> <li>・意見交換会</li> <li>・要望書の取り扱いについて</li> </ul>   |
| 第3回 | 令和6年9月25日(水)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズ調査の中間報告</li> <li>・一宮町中央公民館の整備に関する検討について</li> </ul>   |
| 第4回 | 令和6年10月23日(水) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一宮町中央公民館の整備に関する検討について</li> </ul>  |
| 第5回 | 令和6年11月6日(水)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会報告書(案)について</li> </ul>  |

一宮町中央公民館建設検討委員会 委員名簿

|      |                      |                 |
|------|----------------------|-----------------|
| 委員長  | おぜき よしあき<br>小関 義明    | 一宮町議会           |
|      | かわしろ しげき<br>川城 茂樹    | 一宮町議会           |
|      | ふじい ゆきえ<br>藤井 幸恵     | 一宮町議会           |
| 副委員長 | おだか たかし<br>小高 隆      | 教育委員会           |
|      | たちばな あ ゆ み<br>立花 亜由美 | 教育委員会           |
|      | おおば けんじろう<br>大場 謙次郎  | 一宮町社会教育委員会議     |
|      | わたなべ けいのすけ<br>渡邊 恵之助 | 一宮町文化協会         |
|      | おかだ かずひと<br>岡田 一人    | 一宮町立小中学校校長会     |
|      | うざわ きよひさ<br>鵜沢 清永    | 一宮町PTA連絡協議会     |
|      | ふじい あつし<br>藤井 敦      | 一宮町区長会          |
|      | むらやま ゆうき<br>村山 裕紀    | 一宮町子ども会育成会      |
|      | ながしま とよみ<br>長島 豊美    | 一宮町女性会          |
|      | さいとう しげみ<br>齋藤 繁美    | 一宮町つくも会         |
|      | よしの しげのり<br>吉野 繁徳    | 一宮町社会福祉協議会      |
|      | やなぎさわ のぶこ<br>柳澤 伸子   | 一宮町ボランティア連絡協議会  |
|      | ふくなべ かつよし<br>福邊 克吉   | 男性公募委員（40歳～59歳） |
|      | なかむら まさとし<br>中村 雅紀   | 男性公募委員（60歳以上～）  |
|      | かわだ し のぶ<br>川田 しのぶ   | 女性公募委員（40歳～59歳） |
|      | すずき ゆうこ<br>鈴木 祐子     | 女性公募委員（60歳以上～）  |

(順不同)

